

ユリの花で夏の花壇を長く彩る

1 はじめに





夏の花壇は高温・強日射などの環境により、植栽できる植物がマリーゴールドやサルビアなど一部の品目に限られていました。そこで、これまであまり用いられなかった球根植物について、利用の可能性を検討しました。耐雨性や耐乾性、高温・強日射での生育状況から、ユリやグラジオラス、クルクマ、ゼフィランサスなど数品目を試作しました。その中で、花が大きく豪華で豊富な花色を持つことから、ユリをインパクトのある新たな夏の花壇材料として選定し、長期にわたり彩りが楽しめる方法を検討しました。

ちなみに、埼玉県はユリ切り花の栽培が盛んで一年中出荷しており、全国でトップクラスの生産量を誇ります。

2 ユリの長期景観維持技術

LA系ユリ（LA）はテッポウユリとスカシユリの交雑種群で、オリエンタル系ユリ（OH）はヤマユリやカノコユリなど、東アジアに自生する種をもとに育成した品種群です。まず、これらの中から、気温が高く日射が強くてもきれいに咲く品種を選定しました。次に、高温下では一つの花の開花期間は短くなりがちですが、長期間継続して花を楽しむように品種の組み合わせを検討しました。その結果、LA系のイエローダイヤモンドとOH系のソルボンヌ、シベリアの組み合わせ（花壇No.3）が、同時に植え付けても7月中旬～8月の長期にわたり景観維持が可能であることがわかりました。

表1 各ユリ品種の開花時期と長期景観維持に適した組み合わせ

花壇 No.	種類	品種	月				
			7	8			
			日	15 17 19 21 23 25 27 29 31	1 3 5 7 9 11 13 15 17 19 21 23 25 27 29 31		
1	LA	イエローダイヤモンド	[Red bar from July 15 to July 27]				 <p>LAユリ3品種のみ（一斉に開花）</p>
	LA	クーリア	[Red bar from July 19 to August 6]				
	LA	アルパタックス	[Yellow bar from July 23 to August 10]				
2	LA	イエローダイヤモンド	[Red bar from July 19 to July 27]				<p>花の咲かない期間が長い</p>
	LA	アルパタックス	[Yellow bar from July 23 to August 10]				
	OH	シベリア	[Green bar from August 13 to August 31]				
3	LA	イエローダイヤモンド	[Red bar from July 15 to July 27]				   <p>LAユリとOHユリの組み合わせ（継続的に開花）</p>
	OH	ソルボンヌ	[Green bar from July 23 to August 10]				
	OH	シベリア	[Green bar from August 13 to August 31]				
4	OH	コンパニオン	[Yellow bar from July 23 to August 10]				<p>観賞期間が短い</p>
	OH	ソルボンヌ	[Green bar from July 23 to August 10]				
	OH	シベリア	[Green bar from August 13 to August 31]				

注)6月7日に花壇ごとに品種を組み合わせ、球根を同時定植

3 夏花による緑化マニュアル

夏の花壇に適する品目については、東京都農林総合研究センターと千葉県農林総合研究センターと協力して、球根植物の他にも花壇苗や緑化植物を活用した「夏花による緑化マニュアル」を作成し、(公財)東京都農林水産振興財団ホームページ(<https://www.tokyo-aff.or.jp/>)で公開しています。

※本研究は「農水委託プロジェクト研究「国産花きの国際競争力強化のための技術開発」(2015～2019)」により実施されました。

【問い合わせ先】

農業技術研究センター施設園芸先端技術担当

電話：048-536-0311 (代表) FAX：048-536-0315 (代表)